

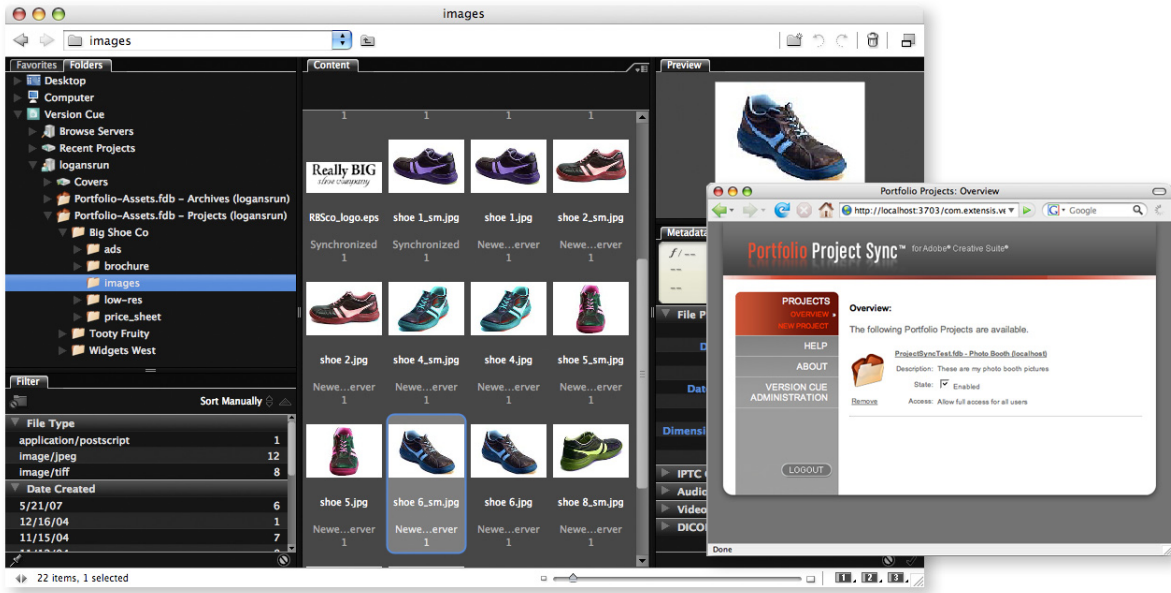


Extensis™  
Portfolio™  
PROJECT SYNC

For Adobe Creative Suite

ユーザーガイド





# お問い合わせ先

## 株式会社セラーテムテクノロジー

電子メール：[sales\\_ap@celartem.com](mailto:sales_ap@celartem.com)

インターネット：<http://www.celartem.com>

## FAQ よくある質問

インターネット：<http://www.extensis.co.jp/support/faq.asp>

## 技術情報

インターネット：<http://www.extensis.co.jp/support/techinfo.asp>

## その他お問い合わせ先

インターネット：[http://www.extensis.co.jp/support/pre\\_contact.asp](http://www.extensis.co.jp/support/pre_contact.asp)

©2007 Extensis, a division of Celartem, Inc. 本書ならびに本書に記載されているソフトウェアは著作権保護の対象であり、無断複写・複製・転載が禁止されています。本書または本書に記載されているソフトウェアの全部または一部を、Extensisの書面による承諾なしに複製することはできません。ただし、ソフトウェアの通常の利用やソフトウェアのバックアップ作成は除きます。この例外であっても他者に対する複製は許可されません。登録済みおよび申請中の米国特許に基づいてライセンス化されています。

ExtensisはExtensisの商標です。Extensisのロゴ、Extensis Library、Font Reserve、Font Reserve Server、Font Vault、Font Sense、Portfolio、Portfolio Server、Portfolio NetPublish、NetPublish、Suitcase、Suitcase ServerはExtensisの商標です。Celartem、Celartem, Inc.、CelartemのロゴはCelartem, Inc.の商標です。Adobe、Acrobat、Illustrator、Photoshop、PostScriptはAdobe Systems, Incorporatedの商標です。Apple、AppleScript、Bonjour、FontSync、Macintosh、Mac OS 9、Mac OS X、PowerPC、QuickDrawはApple Computer, Inc.の登録商標です。Microsoft、Internet Explorer、Windows、Windows XP、Windows 2000、Windows NT、Windows ME、Windows 98はMicrosoft Corporationの登録商標です。IntelはIntelの登録商標です。その他すべての商標は各社が所有しています。

## Extensis (米国)

1800 SW First Avenue,

Suite 500

Portland, OR 97201

フリーダイヤル：(800) 796-9798

電話：(503) 274-2020

Fax：(503) 274-0530

インターネット：<http://www.extensis.com>

## Extensis Europe

Suite 17 & 18, Newton House

Northampton Science Park

Kings Park Road, Moutlon Park

Northampton NN3 6LG

United Kingdom

電話：+44(0)1604 654 270

Fax：+44 (0)1604 654 268

電子メール：[info@extensis.co.uk](mailto:info@extensis.co.uk)

本製品の一部では、さまざまなオープンソースプロジェクトで開発されたソフトウェアコンポーネントを使用しています。そうしたコンポーネントのソースコードのライセンスおよび使用可能性については、本製品に付属する著作権表示ファイルであるLICENSES.TXTに示されています。ソフトウェアコンポーネントの利用に関する情報については、該当するライセンスを参照してください。

Extensisは、製品の購入日より30日間、通常の使用状況において、ソフトウェアが記録されているディスクに材質上および製造上の欠陥が無いことを保証します。製品をExtensisから直接購入し、30日以内に障害が発生した場合、ディスクをExtensisに返送いただければ交換いたします。交換用に送付されたすべての製品は、交換の前にExtensisで登録する必要があります。販売店から購入したExtensis製品は販売店によって保証され、販売店の返品規定の対象となります。この保証は交換に限定され、その他の損害を含みません。その他の損害には、利益の損失、特殊な要求、付随的な要求、その他の同様の要求などがありますが、これらに限定されるものではありません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供されます。上記の明示的な保証を除き、Extensisは、同梱のソフトウェアの品質、性能、商品性、または特定目的の適合性に関して、明示的または暗黙的を問わず他のいかなる保証もいたしません。



# 目次

<b>Portfolio Project Syncの紹介</b> .....	<b>1</b>
Portfolio Project Sync .....	1
使用例 .....	1
<b>Portfolio Project Syncのインストールと設定</b> .....	<b>3</b>
システム要件 .....	3
サーバーインストールの概要 .....	3
Version Cue Serverをインストール .....	4
Portfolio Project Syncをインストール.....	4
Version Cueの設定を更新し、Version Cue Serverを再起動 .....	4
Portfolio Serverをインストール.....	5
Portfolioクライアントをインストール .....	5
カタログを作成.....	5
AutoSync監視フォルダを作成.....	6
PortfolioおよびVersion Cueユーザーを設定 .....	7
Project Syncプラグインを設定 .....	9
<b>Portfolio Project Syncの使用</b> .....	<b>12</b>
Adobe BridgeからPortfolio Project Syncにアクセス .....	12
Adobe BridgeからPortfolioを起動 .....	14
Adobeのメニューオプションとステータスメッセージ .....	15
<b>カスタマイズ</b> .....	<b>16</b>
PortfolioフィールドをカスタマイズしてAdobe Bridgeで検索用に使用 .....	16
<b>Project Syncの削除</b> .....	<b>18</b>
Project Syncプロジェクトを削除 .....	18
Portfolio Project Syncをアンインストール.....	18



# Portfolio Project Syncの紹介

## Portfolio Project Sync

Portfolio Project Syncは、Portfolio ServerとVersion Cue Serverとの接続を可能にする斬新なテクノロジーです。Adobe Creative Suiteユーザーは、この接続によってPortfolio Serverの強力なアセット共有機能とアーカイブ機能を活用できます。また、これらはすべて、Portfolioカタログを開くことなく実現できます。

Portfolio Project Syncをクリエイティブワークフローに統合すれば、ユーザーは慣れ親しんだ方法でアセットにアクセスし、これを保存できます。クリエイティブユーザーはCreative Suiteアプリケーション上で、それ以外のユーザーはExpressパレットやNetPublishサイトなどを利用したり、Portfolioクライアントから直接など、さまざまな方法でアセットにアクセスでき、既存のワークフローを崩すことなくPortfolioを使用できます。

## 使用例

Portfolio Serverは、Portfolio Project Syncの利用によって、アセット管理および配布システムの効率的なハブとなります。

ファイルから抽出されたメタデータにより、ファイルを簡単に見つけることができます。クリエイティブユーザーは、Adobeの「ファイル情報」ダイアログからカスタムXMPメタデータを入力し、他のユーザーはそのデータを利用してアセットを見つけることができます。

次に、Portfolio Project Syncの一般的な実装例を紹介します。



## Project Syncを画像ライブラリとして使用

Portfolio Project Syncを利用すれば、クリエイティブユーザーは他のプロジェクトを構築するための画像を取得できます。例えば、主にAdobe Creative Suiteアプリケーションで作業するユーザーは、Adobe Creative Suiteアプリケーションのファイルメニューから、ロゴ、テンプレート、その他の画像エレメントなどのアイテムに直接アクセスできます。また、Adobe Bridgeを使用すれば、Portfolio Serverカタログに格納されたアセットを直接ブラウズして必要なアイテムを取得できます。

このような用途の場合は、Portfolioクライアントを起動せずに、全体の作業をAdobe Bridge内で行ってプロジェクトに必要なアセットを見つけることもできます。

### アーカイブサーバーとして使用

クリエイティブプロジェクトが完成したら、最新ファイルを安全な場所に保管する必要があります。ユーザーは、バージョンングやチェックインおよびチェックアウト機能を活用した標準のVersion Cueプロジェクトで作業し、Portfolio ProjectSyncを使用して、ほとんどのCreative Suiteアプリケーションに装備されているAdobeの「保存」ダイアログボックスからPortfolioのアーカイブカタログフォルダにファイルを直接コピーすることができます。または、Bridgeでファイルをドラッグ&コピーできます。

### Webベースの配布システムとして使用

Project Syncは、クリエイティブなワークグループからワールドワイドウェブへのゲートウェイとなります。Portfolio NetPublishとの連携により、ほとんどユーザーインタラクションなしで、Creative Suiteアプリケーションで作成および保持されたファイルを即座にWebで公開できます。

この使用例では、クリエイティブユーザーはCreative Suiteアプリケーションで通常行う操作と同様の操作を行います。NetPublishで事前設定されたProject Syncプロジェクトに保存されたファイルは、直接Web上に配置されます。Portfolio Serverは、ほとんどのファイルタイプに対応する低解像度のプレビューを、Webユーザー用に生成することもできます。これにより、標準のWebブラウザを持つユーザーなら誰でも、完成したアセットにアクセスし、そのアセットをプレビューおよびダウンロードできます。

### クリエイティブ以外のユーザーのための自動配信システムとして使用

ロゴ、テンプレート、プレゼンテーションなどのクリエイティブアセットにアクセスする必要がある組織内のすべてのユーザー、特に、Creative Suite以外のユーザーは、Portfolio Serverを使用することで、Portfolio Express、またはPortfolioクライアントからこれらのアセットにアクセスできます。どちらのアプリケーションでもユーザーの手元でカタログ化されたアセットが扱えるので、デザイナーはファイルのコピーや送付などのわずらわしい作業から解放されます。

したがって、クリエイティブチームがアセットを作成してProject Syncプロジェクトに保存すると、クリエイティブ以外のユーザーは、Portfolio Expressからアセットを探し出し、好みの新規ドキュメントへ、ほとんどの場合、直接ドラッグして使うことができます。



# Portfolio Project Syncのインストールと設定

## システム要件

### サーバーシステム要件

Adobe Version Cue® Serverと共に使用するPortfolio Project Sync™をインストールおよび設定する場合に必要な、最小のシステム要件を以下に示します。

- **Adobe Version Cue Server 3.1以降**
- **Mac OS X 10.4.4、Microsoft Windows Server 2003 SP1またはR2**



Adobe Version Cue ServerをPortfolio Serverと同じサーバーにインストールする必要はありません。しかし、最適なパフォーマンスを実現するために、同じマシンにインストールすることをお勧めします。

Portfolio ServerをAdobe Version Cue Serverと同じマシンにインストールする場合は、より高速なCPUやハードディスクの搭載、RAMの増設が有効です。

### エンドユーザー向けシステム要件

Project Syncプロジェクトのエンドユーザーが必要とする最小のシステム要件を以下に示します。

- **Adobe Version Cue Client 3.1以降**
- **Bridge 2.1以降を持つAdobe Creative Suite**

すべてのエンドユーザーは、Adobe CS3アプリケーションを使用してPortfolio Project Syncプロジェクトに接続する必要があります。Creative Suiteアプリケーションの以前のバージョンはサポートされていません。

Version CueおよびBridgeでは、使用されるファイルはエンドユーザーシステムのキャッシュに格納されます。そのため、ファイルの数やサイズによって、かなりのハードディスク容量が必要になる場合がありますのでご注意ください。

## サーバーインストールの概要

1. Version Cue Serverをインストール
2. Portfolio Project Syncをインストール
3. Version Cueの設定を更新し、Version Cue Serverを再起動
4. Portfolio Serverをインストール
5. Portfolioクライアントをインストール
6. 新規カタログを作成
7. 1つ以上のAutoSync監視フォルダを作成
8. PortfolioおよびVersion Cueユーザーを設定
9. Portfolio Project Syncを設定

## Version Cue Serverをインストール

Version Cueは、Version Cue Server、およびAdobe CS3アプリケーションに構築されたクライアントコンポーネントの2つのコンポーネントで構成されています。

Portfolio Serverをインストールする前に、Adobe Version Cue Serverをご使用のサーバーにインストールします。Version Cue Serverをインストールするには、Adobe Creative Suiteのカスタムインストールが必要です。詳細については、Adobeのインストールガイドを参照してください。

Project SyncソフトウェアはVersion Cue Serverのプラグインであり、エンドユーザーシステムへのインストール用には設計されていません。サーバーレベルで一度だけインストールします。

## Portfolio Project Syncをインストール

Project Syncをインストールするために、Version Cue Serverマシンでインストーラを実行します。このインストーラにより、プラグインは以下の適切な場所に配置されます。

### Mac OS X Serverでのプラグインの場所:

```
/Library/Application Support/Adobe/Adobe  
Version Cue CS3/Server/plugins/com.  
extensis.portfolio.projectsnc_1.0.0/
```

### Microsoft Windows Serverでのプラグインの場所:

```
<system drive>\Program Files\  
Common Files\Adobe\Adobe Version Cue CS3\  
Server\plugins\com.extensis.portfolio.  
projectsnc_1.0.0/
```

## Version Cueの設定を更新し、Version Cue Serverを再起動

Portfolio Project Syncのインストール後、システム設定を更新してVersion Cue Serverを再起動します。

### Mac OS X Server:

1. 「アップルメニュー」>「システム環境設定」>Version Cue CS3アイコンの順に選択します。
2. 必要に応じて左下の鍵アイコンをクリックして変更可能に設定してください。



3. 「設定」タブで、「サーバの公開設定」オプションを「他のユーザに公開」に設定します。
4. 「ワークグループのサイズ」オプションを希望のサイズに指定します。
5. 「コンピュータの起動時にサーバを開始」オプションを有効にします。
6. 「今すぐ適用」ボタンをクリックします。
7. 「停止」ボタンをクリックします。

8. 「起動」ボタンをクリックします。
9. 「システム環境設定」を閉じます。

### Microsoft Windows Server :

Adobe Version Cue ServerはMicrosoft Windowsのサービスとして実行されます。Version Cueのサービス設定を以下の手順で更新します。

1. 「スタート」 > 「コントロールパネル」 > 「Adobe Version Cue CS3」の順に選択します。
2. 「設定」タブで、「サーバの公開設定」オプションを他のユーザに公開」に設定します。
3. 「ワークグループのサイズ」 オプションを希望のサイズに指定します。
4. 「コンピュータの起動時にサーバを開始」 オプションを有効にします。
5. 「停止」ボタンをクリックします。
6. 「起動」ボタンをクリックします。

### Portfolio Serverをインストール

Portfolio Serverをインストールしていない場合は、この時点でインストールしてください。



Portfolio ServerはAdobe Version Cue Serverと同じサーバにインストールする必要はありませんが、同じサーバにインストールすることでパフォーマンスは最適化されます。

### Portfolioクライアントをインストール

Portfolioクライアントをサーバマシンにインストールします。Portfolioクライアントをインストールしたサーバに、AutoSyncフォルダを直接作成します。



ファイルサーバから直接AutoSyncフォルダを設定することにより、ローカルディスクからネットワークパスを導く「パスの変換」ダイアログボックスへのアクセスが可能になります。これによってパフォーマンスが改善され、Portfolio Serverのシステムリソース使用量が減少します。

### カタログを作成

Portfolio Serverで新規カタログを作成します。Portfolio Project Syncで使用するためのまったく新しいカタログを作成することをお勧めします。

カタログ作成中のデータ互換性を最大限に引き出すため、カタログタイプに「Portfolio Project Sync™ for Adobe® Creative Suite」を指定します。

既存のカタログを更新する場合は、『Portfolio Serverユーザーガイド』を参照してください。

1. Portfolioクライアントから、「ファイル」 > 「サーバの管理」の順に選択します。
2. 新規のPortfolio Serverをリストに追加します。「サーバの追加」ボタンをクリックします。サーバ名とサーバのIPアドレスを入力します。「OK」をクリックします。
3. 「サーバの管理」ダイアログボックスでサーバ名を選択し、「設定」をクリックします。
4. カタログのパスワードを入力します。パスワードが存在しない場合は、新しいパスワードを入力します。
5. 「設定」ダイアログボックスで「新規」をクリックして新しいカタログを作成します。
6. カタログの種類に「Portfolio Project Sync™ for Adobe® Creative Suite」を指定し、「OK」をクリックします。

Portfolio Serverカタログのその他の設定オプションについては、『Portfolio Serverユーザーガイド』を参照してください。

## AutoSync監視フォルダを作成

Portfolio Project SyncでVersion CueクライアントからアクセスできるのはAutoSync監視フォルダのみです。これは、Portfolioカタログが複数のファイルシステムへ展開可能であり、オフラインアセットを含むためです。Project Syncを使用してすべてのアセットを確実に利用できるようにするために、Adobe Version Cueインターフェースから、AutoSync監視フォルダにアクセスする必要があります。

AutoSync監視フォルダの設定では、各監視フォルダを個別のプロジェクトとして設定しておくと便利です。こうすれば、AutoSyncフォルダはProject Syncで個々のプロジェクトとして利用可能になります。また、個々に独立したプロジェクトのため、Portfolioクライアントでの検索が容易になります。



追加されるAutoSyncフォルダが多くなると、Portfolio Serverはフォルダを同期するためにより多くのシステムリソースを必要とします。そのため、カタログに追加するAutoSyncフォルダの数は慎重に選んでください。

新規にカタログを作成した後は、場所を選択し、AutoSyncフォルダを追加します。このフォルダにすべてのオリジナルアセットが格納されます。

AutoSyncフォルダの場所は、Portfolio ServerまたはVersion Cue Serverと同じサーバー上である必要はありません。Portfolio Serverは、AutoSyncフォルダの格納場所に対して読み取り/書き込み権限を持ちますが、カタログのエンドユーザーは直接アクセスする必要はありません。すべてのアクセスは、PortfolioおよびAdobe Version Cue Serverから行われます。

## AutoSync監視フォルダの作成手順:

1. Portfolioクライアントをまだインストールしていない場合は、この時点でPortfolio Serverと同じマシンにインストールします。AutoSync監視フォルダは、リモートのクライアントではなく、Portfolio Serverマシンで直接実行されているクライアントによってカタログに追加する必要があります。
2. 「アクセス権のレベル」ダイアログボックスで「カタログ」>「アクセス権のレベル」の順に選択し、「管理者」レベルのアクセスを選択します。カタログのパスワードを入力します。
3. フォルダビューペインまたはドロワーで、「監視フォルダの追加」ボタンをクリックします。



フォルダビューペイン(Win)またはドロワー(Mac)が見つからない場合は、「表示」>「フォルダ」の順に選択してください。

4. AutoSyncフォルダとして追加したいフォルダを選び、「OK」をクリックします。



アセットはPortfolio Serverが実行されているシステムに格納し、AutoSyncフォルダの追加はローカルディスクで行うことを強くお勧めします。

5. 「フォルダ同期の設定」ダイアログで、必要に応じて、その他のAutoSyncフォルダなどのオプション設定をします。

最適なパフォーマンスを実現するために、Portfolio Project Syncで使用するAutoSync監視フォルダを以下のように設定することをお勧めします。

- フォルダの変更を継続的に監視。
- カatalogアイテムのオリジナルが見つからない場合は、カタログからそのアイテムを削除する。

AutoSyncフォルダ設定の詳細については、『Portfolio Serverユーザーガイド』を参照してください。

6. 「OK」をクリックしてAutoSyncフォルダを追加します。

- システムから指示があれば、適切なネットワーク共有を選んで「OK」をクリックしてください。

## PortfolioおよびVersion Cueユーザーを設定

ここでは、PortfolioカタログユーザーとVersion Cueユーザーの両方の設定を行います。

### Project Syncユーザーのアクセスオプション

PortfolioおよびVersion Cueのユーザーアカウントを設定する前に、Portfolio Project Syncプロジェクト作成時に2つの異なるアクセスオプションがあることを知っておく必要があります。

- **Portfolioユーザーのみを許可する**
- **全ユーザーに完全なアクセスを許可する**

どちらのオプションを選ぶかは、ご使用のPortfolioカタログのアクセス設定（「ユーザー単位でのアクセス」または「レベル単位でのアクセス」）によって変わります。

「レベル単位でのアクセス」を使用しているカタログでは、「全ユーザーに完全なアクセスを許可する」オプションのみを選択できます。「ユーザー単位でのアクセス」を使用しているカタログでは、Project Syncのアクセスオプションを使用できます。

Project Syncプロジェクトのアクセスコントロールが必要な場合は、「ユーザー単位でのアクセス」を使用します。Project Syncプロジェクトはフォルダごとに設定されているため、カタログ内の個々のフォルダにアクセスを許可することができます。

プロジェクトを設定する前に、Version CueユーザーとPortfolioカタログのユーザーアクセスタイプを設定する必要があります。

### Version Cueユーザーを設定

Version CueユーザーとPortfolioユーザーは、まったく別のものです。Version Cue Serverにアクセスするには、カタログのアクセス設定の種類に関わらず、Version Cueのユーザー名とパスワードが必要になります。

Version Cueのユーザー名の設定については、Adobeヘルプに含まれている説明に従ってください。Portfolioのカタログにユーザーベースのアクセスを設定する場合は、Version Cue Serverのユーザーとまったく同一のユーザーをPortfolioのカタログに作成してください。こうすることで、Version Cue Serverが認証するだけでProject Syncを利用できます。



PortfolioとVersion Cue Serverのどちらでも、新規ユーザーをインポートするためにテキストファイルを使用できます。詳細については、『Portfolioユーザーガイド』およびVersion Cue Serverドキュメントを参照してください。

### 「ユーザー単位でのアクセス」を使用するカタログを設定

Portfolioカタログの「ユーザー単位でのアクセス」設定では、Version CueユーザーがProject Syncプロジェクトからアセットにアクセスする方法を完全に制御することができます。

アセットへのアクセスは、各ユーザーが使用しているカタログのアクセスレベルによって決まります。これにより、アクセスを制限するユーザーとフルアクセス権を与えるユーザーとを指定することができます。

アクセスの詳細については、次ページの表を参照してください。

### 「ユーザー単位でのアクセス」の設定手順:

1. Portfolioクライアントから、管理者モードで指定のPortfolioカタログを開き、「カタログ」>「設定」の順に選択します。

「ユーザー単位でのアクセス」が設定されたカタログで、各ユーザーが利用できる機能

	閲覧者	編集者	発行者	管理者
アセットの検索	○	○	○	○
同期	○	○	○	○
検索	○	○	○	○
Portfolioからのコピー	○	○	○	○
Portfolioへの貼り付け	×	×	○	○
アセットの移動	×	×	○	○
アセットの移動	×	×	○	○
アセットの追加	×	×	○	○

2. 「パスワード」タブで「ユーザー単位でのアクセス」オプションを選択し、「ユーザーの編集」ボタンをクリックします。
3. 「ユーザー」ダイアログボックスで「新規」をクリックし、新しいユーザーを追加します。
4. アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。Version Cueで設定したユーザー名およびパスワードを使用する場合は、Version Cueでのみ認証が行われた後、Project Syncアセットにアクセスできます。

Version CueとPortfolioのユーザー名は同一でなければなりません。それぞれのアカウントには異なるパスワードを設定できます。

そのユーザーに設定したい機能のレベルに基づいて、アクセスレベルを設定してください。詳細については、上記の表を参照してください。

5. 「OK」をクリックして新しいユーザーを追加します。追加するユーザーごとに以上の手順を繰り返します。

「レベル単位でのアクセス」を使用するカタログを設定

Portfolioカタログの設定が「レベル単位でのアクセス」の場合、Version Cue Serverでのみ認証が行われた後、Project Syncプロジェクトにアクセスできます。

このアクセス方法のセキュリティレベルは最小限のものです。すべてのVersion Cueユーザーはアセットの検索および編集を最大限に実行できます。「レベル単位でのアクセス」は、基本的にすべてのユーザーがVersion Cueから管理者レベル（読み取り/書き込み/削除の全権限を持つ）でアセットへアクセスできるため、適切な環境でのみ実行する必要があります。

## Project Syncプラグインを設定

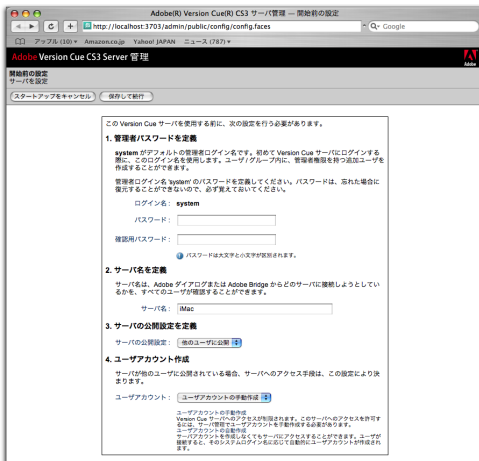
Portfolio Project Syncプラグインは、Version Cueの「環境設定」ダイアログボックスから起動するWebインターフェースを介して直接設定することができます。

1. Mac OS X Serverの場合は、「アップルメニュー」>「システム環境設定」>Version Cue CS3アイコンの順に選択します。

または、Finderのメニューバーから「Version Cue CS3 Server」のステータスアイコンを選んで「Version Cue CS3環境設定」を選択します。

Microsoft Windows Serverの場合は、「スタート」>「コントロールパネル」>「Adobe Version Cue Server」の順に選択します。

2. 「設定」タブで、「サーバ管理」をクリックします。これにより、デフォルトのWebブラウザで管理オプションが起動します。
3. 管理者のユーザー名とパスワードを入力します。Version Cue Server Administrationを初めて実行した場合は、いくつかの初期設定オプションが表示されます。

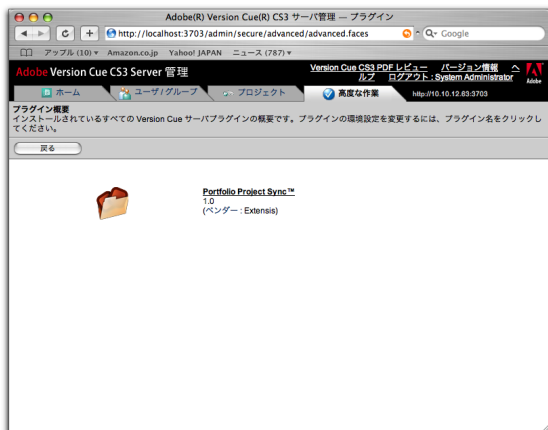


初期設定の入力内容については、Adobe Version Cueドキュメントを参照してください。Portfolio Project Syncで使用する推奨設定を以下に示します。

- 「ログイン名」を「system」に設定します。このユーザーのパスワードを入力して確認します。
  - Version Cueサーバー用のサーバ名を設定します。
  - 「サーバの公開設定」を「他のユーザに公開」に設定します。
  - 「ユーザアカウント」を「ユーザアカウントの手動設定」に設定します。
  - 「保存して続行」をクリックして初期設定を完了します。
4. サーバ管理インターフェースの「高度な作業」タブで、「プラグイン概要」をクリックします。



5. 「プラグイン概要」ページで、「Portfolio Project Sync」のリンクをクリックします。



Portfolio Project Syncの管理インターフェースが起動します。

- 「Portfolio プロジェクト概要」ページで「新規プロジェクト」のリンクをクリックし、新規のPortfolio プロジェクトを開始します。



- 「Portfolio Serverへの接続」ページで、Portfolio ServerのIPアドレス、ポート番号、パスワードを入力します。

Portfolio Serverのデフォルトのポート番号は2903です。

サーバーパスワードには、Portfolio Server管理者パスワードを入力します。個々のカタログではパスワードは必要ありません。



「接続」をクリックしてPortfolio Serverに接続します。

- 「新規プロジェクト」ページに、接続しているPortfolio Serverで利用可能なカタログとフォルダが表示されます。

「カタログ」のドロップダウンボックスで、Portfolio Serverのカタログリストから選択します。





9. 「フォルダ」ドロップダウンボックスで、リストからAutoSync 監視フォルダを選択します。

監視フォルダが見当たらない場合は、「Project Sync」ウィンドウを閉じます。Portfolioクライアントに戻り、カタログにAutoSync監視フォルダを追加してからProject Syncに再度ログインします。

10. 利用可能なオプションを選択し（または選択解除し）、Version Cueユーザーに利用可能なプロジェクトを設定します。

11. 説明を入力します。

12. プロジェクトのアクセスレベルを選択します。

Portfolioユーザーのみを許可する：Portfolioカタログの設定が「ユーザー単位でのアクセス」の場合、PortfolioはユーザーのPortfolioアクセスレベルに基づいて、ユーザーにアセット変更レベルのセキュリティを設定します。詳細については、本章の表を参照してください。

全ユーザーに完全なアクセスを許可する：この設定ではすべてのVersionCueユーザーがPortfolio Project Syncに読み取り／書き込みのアクセスを行うことができます。これは、「レベル単位でのアクセス」を使用したPortfolioカタログ設定のオプションとしてのみ利用できます。

13. 「プロジェクトを追加」をクリックして、Version Cue ServerへのPortfolio Project Syncプロジェクトの追加を完了します。

14. 「ログアウト」をクリックして終了します。

# Portfolio Project Syncの使用

## Adobe Bridgeから Portfolio Project Syncにアクセス

Version CueをサポートするAdobe Creative Suiteアプリケーションから、Portfolio Project Syncプロジェクトにアクセスすることができます。Adobe Bridgeからの接続も可能です。

1. Adobe Bridgeを起動します。
2. 「フォルダ」タブで、「Version Cue」>「サーバを参照」の順にクリックします。
3. リストから、ご使用のVersion Cue Serverを選択します。サーバー名の左にある三角のアイコンを展開します。

Version Cue Serverの認証画面が表示された場合は、Version Cueのユーザー名とパスワードを入力します。

4. Portfolio Project Syncプロジェクトをブラウズし、サーバー名の左にある三角のアイコンを展開します。



中央ウィンドウの「コンテンツ」タブを選択しないとアセットリストを参照できない場合があります。

Project Syncプロジェクトが「Portfolioユーザーのみを許可する」に設定されていて、かつPortfolioカタログのユーザー名がVersion Cueのものと同じの場合は、自動的にProject Syncプロジェクトに接続されます。

Portfolio Project Syncプロジェクトが「全ユーザーに完全なアクセスを許可する」に設定されている場合、Portfolioレベルでの認証は必要なく、すべてのVersion CueユーザーはProject Syncプロジェクトに対する読み取り/書き込み権限を持ちます。

これで、Adobe Bridgeの他のすべてのファイルと同様にProject Syncプロジェクトを閲覧することができます。

Adobe Bridge経由でアクセスするProject Syncプロジェクトで利用可能なステータスインジケータとコマンドのリストについては、本章の最後にある表を参照してください。

## Adobe Bridge経由で Project Syncファイルと連携

Project Syncプロジェクトでは、Check In機能のみを利用できます。基本的に、最後にチェックインされたバージョンのファイルがPortfolioに格納されています。

バージョントラッキングや、Version CueのCheck In/Check Out機能をフルに活用したい場合は、Project Syncに接続していない標準のVersion Cueプロジェクトを使用してください。この機能を必要とするワークフローでは、Project Syncプロジェクトをアセットの最終バージョンのレポジトリとして、または共通エレメントのアクセスポイントとして使用することをお勧めします。

### Portfolioからファイルのローカルコピーを取得する方法:

- Adobe Bridgeのファイルを右クリックして表示されるメニューから、「同期」を選択します。Portfolio Serverからファイルがダウンロードされ、ご使用のマシンにローカルコピーが生成されます。

または、

Adobe Bridgeでファイルをダブルクリックします。ファイルが開くと自動的にダウンロードが始まり、ローカルファイルが開きます。

ファイルの編集が完了しても、そのファイルはPortfolio Serverに自動保存されません。そのため、Check In機能を使用してローカルファイルをPortfolio Serverに保存する必要があります。

### ローカルファイルの最終バージョンをPortfolioに保存する方法:

- Adobe Bridgeのファイルを右クリックして表示されるメニューから、「チェックイン」を選択します。

または、

Creative Suiteアプリケーションでファイルを開き、「ファイル」>「チェックイン」の順に選択してPortfolioで保存します。

### メタデータの編集

XMPメタデータは、Adobe Bridgeを経由して複数の方法で直接編集することができます。ファイルのメタデータをAdobe Bridgeを使って編集する場合、ユーザーはサーバーにあるファイルのメタデータを直接編集するため、サーバーと同期しないでメタデータの編集ができます。



同期したコピーを作成してから、メタデータを編集した場合、ユーザーのローカルファイルはサーバーにあるものより古くなります。更新したメタデータのファイルを取得するには、再度サーバーと同期します。

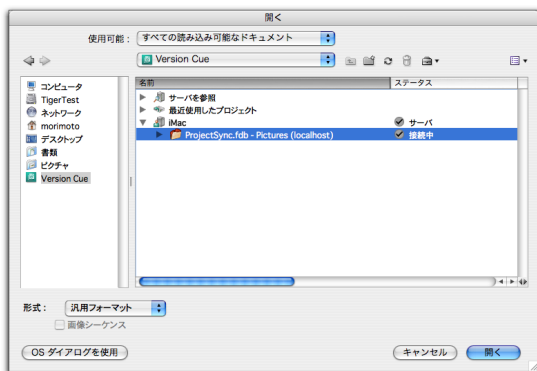
Adobe Bridgeでメタデータを編集するには、以下の3つの方法があります。

- Adobe Bridgeのメタデータペインから、直接、ファイルを選択しメタデータフィールドを編集します。
- 「ツール」>「メタデータテンプレートの作成」コマンドを使用して、メタデータテンプレートを作成します。作成したテンプレートは「メタデータを追加」または「メタデータの置き換え」コマンドを使って、ひとつ以上のファイルに適用することができます。この方法は多数のファイルのメタデータ更新をバッチ処理するときに便利です。
- 特定ファイルの「ファイル情報」ダイアログボックスを開きます。「ファイル」>「ファイル情報」の順に選択し、ファイルを選択します。ダイアログボックスが表示され、特定ファイルのXMPメタデータをすべて編集することができます。

## AdobeのダイアログボックスからPortfolio Project Syncプロジェクトにアクセス

多くのAdobeアプリケーションにある「開く」および「保存」ダイアログボックスから、Version Cueプロジェクトにアクセスすることができます。

1. Adobeアプリケーションで、「開く」または「保存」をクリックします。
2. ダイアログボックスで、「アドビダイアログを使用」ボタンをクリックします。



「OSダイアログを使用」ボタンが表示されている場合は、すでにAdobe Dialogを使用している状態です。

3. 左側の欄で、Version Cueをクリックします。
4. 「サーバを参照」アイコンを展開します。
5. リストから、ご使用のVersion Cue Serverを選択します。サーバー名の左にある三角のアイコンを展開します。

Version Cue Serverの認証画面が表示された場合は、Version Cueのユーザー名とパスワードを入力します。

6. Portfolio Project Syncカタログをブラウズし、カタログ名の左にある三角のアイコンを展開してカタログを選択します。

Project Syncプロジェクトが「Portfolioユーザーのみを許可する」に設定されていて、かつPortfolioカタログのユーザー名がVersion Cueのものと同じの場合は、自動的にProject Syncプロジェクトに接続されます。

Portfolio Project Syncプロジェクトが「全ユーザーに完全なアクセスを許可する」に設定されている場合、すべてのVersion CueユーザーはProject Syncプロジェクトに対する読み取り／書き込み権限を持ちます。

Adobeダイアログボックスのコマンドおよびステータスインジケータについては、本章の最後にある表を参照してください。

7. ファイルを選択し、「開く」をクリックします。ファイルを保存する場合は、保存する場所で「保存」をクリックしてください。



Adobeダイアログボックスでは、表示設定をサムネイル表示に切り替えることで、ファイルを視覚的に検索することができます。

## Adobe BridgeからPortfolioを起動

ご使用のマシンにPortfolioクライアントがインストールされている場合は、Adobe Bridgeから直接Portfolioクライアントを起動できます。

- Adobe BridgeのコンテンツウィンドウでControlキーを押しながらマウスをクリックし、メニューから「Portfolioの起動」を選択すると、Project Sync経由で利用できるカタログにすぐにアクセスできます。Portfolioではユーザー名とパスワードが要求されます。



Adobe Bridgeから直接Portfolioを起動できるのは、Portfolio 8.5がインストールされたマシンのみです。

## Adobeのメニューオプションとステータスメッセージ

以下は、Adobe Bridgeの右クリックメニュー（コンテキストメニュー）で利用できるオプションです。最初の表は、Portfolio Project Syncプロジェクトで使用される各コマンド機能の概要です。2番目の表は、Adobe Bridge、およびAdobeのダイアログボックスで表示されるステータスインジケータの説明です。

Adobe BridgeおよびAdobeダイアログボックスの使用方法の詳細については、Adobeヘルプシステムを参照してください。



フォルダの選択時に、「同期」および「ダウンロード」コマンドを実行する場合は注意してください。フォルダには、ローカルに保存しようとしているファイル数よりも多くのファイルが含まれている場合があります。誤ってファイルを同期またはダウンロードした場合、「ローカルファイルをクリア」コマンドを実行してディスクスペースを空けてください。

メニューオプション	コマンド機能
同期	「同期」を実行すると、ローカルまたはサーバーにある最新情報を持つファイルが、古い情報を持つファイルを上書きし、サーバーとローカルのファイルを同じバージョンに保ちます。
ダウンロード	このコマンドを実行すると、ローカルファイルが最新情報を持っていても、サーバーファイルの内容で上書きされます。
Portfolio から削除する	Adobe Bridge の「削除」 ボタンを使用しても、Project Sync プロジェクトからアセットを削除することはできません。アセットを削除するには、コンテキストメニューの「Portfolio から削除する」コマンドを実行してください。ただし、このコマンドの使用には注意が必要です。Portfolio からファイルを削除すると、Portfolio のサーバーとローカルの両方にあるファイルが永久に削除され、元に戻すことができません。
チェックイン	このコマンドは、サーバーファイルをローカルファイルで上書きする場合に選択します。このコマンドには、多くの Adobe Creative Suite アプリケーションのファイルメニューからアクセスすることができます。
ローカルファイルをクリア	このコマンドを使用すると、ローカルにあるファイルが削除されます。サーバー上のファイルには影響がありません。このオプションは、保持したいファイルのローカルコピーをチェックインまたは同期した場合のみに選択してください。ローカルファイルのチェックインまたは同期を行わなかった場合、ローカルファイル削除後にその内容を取り戻すことはできません。

ステータスインジケータ	説明
同期	Portfolio Server にあるファイルとローカルにあるファイルは同一のものです。
競合コピー	Portfolio Server にあるファイルとローカルにあるファイルの両方が修正されています。アセットを同期するとダイアログが表示され、コンフリクトが解消されます。保持したいアセットについて、サーバーファイルをダウンロードするかローカルコピーをチェックインするかのいずれかのオプションを選択することができます。
期限切れのコピー	Portfolio Server にあるファイルの内容が、ローカルにあるファイルよりも新しい状態です。サーバーファイルを同期およびダウンロードするか、ローカルファイルをチェックインできます。
ローカルでの変更	ローカルにあるファイルの内容が、サーバーにあるファイルよりも新しい状態です。サーバーコピーを同期またはダウンロードして変更を上書きするか、ローカルコピーをチェックインできます。

# カスタマイズ

## Portfolioフィールドをカスタマイズして Adobe Bridgeで検索用に使用

Project Sync管理者は、Adobe Bridgeの「検索」ダイアログで利用できるPortfolioフィールドを制御できます。

Adobe Bridgeの「検索」ダイアログにあるフィールド情報は、英語、フランス語、ドイツ語、日本語を含む対象言語のXMLファイルで表示が制御されています。

ファイル名はすべてAllowedFields.xmlとなり、Project Syncプラグインフォルダの内部にあるデータディレクトリの言語専門のサブフォルダに格納されています。

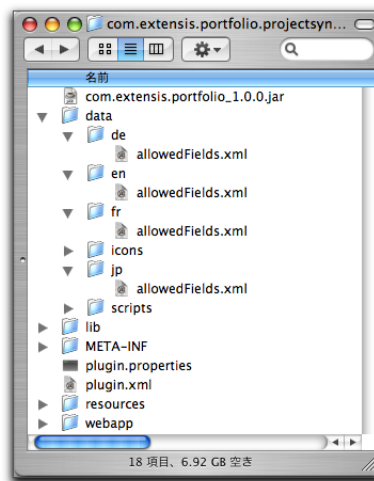
- de :ドイツ語
- en :英語
- fr :フランス語
- jp :日本語

Mac OS X Serverでのフォルダの場所は以下のとおりです。

```
/Library/Application Support/Adobe/Adobe  
Version Cue CS3/Server/plugins/  
com.extensis.portfolio.projectsynchron_1.0.0/  
data/
```

Microsoft Windows Serverでのフォルダの場所は以下のとおりです。

```
<system drive>\Program Files\  
Common Files\Adobe\Adobe Version Cue CS3\  
Server\plugins\com.extensis.portfolio.  
projectsynchron_1.0.0\data\
```

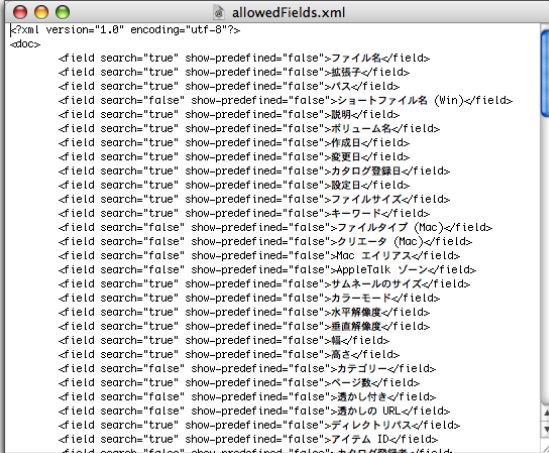


AllowedFields.xmlファイルは標準のテキストエディタで編集可能ですが、UTF-8フォーマットで保存する必要があります。

XMLファイルは、Adobe Bridgeの「検索」ダイアログで利用可能なフィールドをProject Syncに伝えるフィルタとして機能します。さまざまな種類のPortfolioフィールドがデフォルトで含まれています。これらをXMLファイルに加えて、独自にカスタマイズしたフィールドを追加または削除することが可能です。

以下にフィールド定義の例を示します。

```
<field search="false" show-predefined=  
"false">Name of Field</field>
```



```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<doc>
  <field search="true" show-predefined="false">ファイル名</field>
  <field search="true" show-predefined="false">拡張子</field>
  <field search="true" show-predefined="false">パス</field>
  <field search="false" show-predefined="false">ショートファイル名 (Win)</field>
  <field search="true" show-predefined="false">説明</field>
  <field search="true" show-predefined="false">ボリューム名</field>
  <field search="true" show-predefined="false">作成日</field>
  <field search="true" show-predefined="false">変更日</field>
  <field search="true" show-predefined="false">カタログ登録日</field>
  <field search="true" show-predefined="false">設定日</field>
  <field search="true" show-predefined="false">ファイルサイズ</field>
  <field search="true" show-predefined="false">キーワード</field>
  <field search="false" show-predefined="false">ファイルタイプ (Mac)</field>
  <field search="false" show-predefined="false">クリエータ (Mac)</field>
  <field search="false" show-predefined="false">Mac エイリアス</field>
  <field search="false" show-predefined="false">AppleTalk ソーン</field>
  <field search="true" show-predefined="false">サムネールのサイズ</field>
  <field search="true" show-predefined="false">カラーモード</field>
  <field search="true" show-predefined="false">水平解像度</field>
  <field search="true" show-predefined="false">垂直解像度</field>
  <field search="true" show-predefined="false">幅</field>
  <field search="true" show-predefined="false">高さ</field>
  <field search="false" show-predefined="false">カテゴリ</field>
  <field search="false" show-predefined="false">ページ数</field>
  <field search="false" show-predefined="false">透かし付き</field>
  <field search="false" show-predefined="false">透かしの URL</field>
  <field search="true" show-predefined="false">ディレクトリパス</field>
  <field search="true" show-predefined="false">アイテム ID</field>
  <field search="false" show-predefined="false">カタログ登録者</field>
```

適切なフィールド定義を行うには、falseに設定されている変数も含めて、すべての変数が必要になります。

#### Name of field

フィールドを追加するとき、フィールド名はPortfolioカタログのフィールド名に正確に一致している必要があります。

#### search

search変数は、フィールドをBridgeユーザーに表示するかどうか、また、Bridgeからカタログを検索するために使用できるかどうかを制御します。

true= フィールドをユーザーに表示し、検索可能な状態にする。

false= フィールドをユーザーに表示しない。

#### show-predefined

特定のフィールドに関して事前に定義されたリストが利用可能である場合、show predefined変数は、そのリストの表示および非表示を制御します。

true= フィールドに事前定義されたリストが含まれている場合、ユーザーに表示する。事前定義されたリストが存在しない場合は、空のテキストボックスを表示する。

false= 事前定義されたリストがあっても表示しない。

# Project Syncの削除

## Project Syncプロジェクトを削除

1. Mac OS X Serverの場合は、「アップルメニュー」>「システム環境設定」>Version Cue CS3アイコンの順に選択します。

または、Finderのメニューバーから「Version Cue CS3 Server」のステータスアイコンを選んで「Version Cue CS3 環境設定」を選択します。

Microsoft Windows Serverの場合は、「スタート」>「コントロールパネル」>「Adobe Version Cue Server」の順に選択します。

2. 「設定」タブで、「サーバ管理」をクリックします。これにより、デフォルトのWebブラウザで管理オプションが起動します。
3. サーバ管理インターフェースの「高度な作業」タブで、「プラグイン概要」をクリックします。
4. 「プラグイン概要」ページで、「Portfolio Project Sync」のリンクをクリックします。
5. 「Portfolio Project Syncプロジェクト概要」ページで、該当プロジェクトのProject Syncアイコンの下にある「削除」をクリックします。
6. 削除する場合は、「OK」をクリックします。

削除されたプロジェクトのコピーは、ローカルのキャッシュに格納されている場合があります。ローカルファイルを削除するには、Adobe Bridgeで、「コンテンツ」ペインの何も表示されていない領域で右クリックし、メニューから「ローカルファイルをクリア」を選択します。次に、「コンテンツ」ペインの何も表示されていない領域を右クリックし、メニューから「切断」を選択してプロジェクトを削除します。

## Portfolio Project Syncをアンインストール

### Mac OS X Serverからのアンインストール

Mac OS X ServerからPortfolio Project Syncプラグインをアンインストールするには、フォルダ全体を削除し、Version Cue Serverを再起動します。

1. Mac OS X Serverの場合は、「アップルメニュー」>「システム環境設定」>Version Cue CS3アイコンの順に選択します。

または、Finderのメニューバーから「Version Cue CS3 Server」のステータスアイコンを選んで「Version Cue CS3 環境設定」を選択します。

2. 必要に応じて左下の鍵アイコンをクリックして変更可能に設定してください。

3. 「設定」タブで、「停止」ボタンをクリックします。

4. 以下のフォルダを削除します。

```
Library/Application Support/Adobe/Adobe  
Version Cue CS3/Server/plugins/  
com.extensis.portfolio.projectsycn_  
1.0.0
```

5. 「Version Cue環境設定」の「設定」タブで、「起動」ボタンをクリックしてサーバーを再起動します。

### Microsoft Windows Serverからのアンインストール

Microsoft Windows ServerからProject Syncプラグインをアンインストールするには、Windowsのプログラムの追加と削除でプログラムを削除してからVersion Cue Serverを再起動します。

1. 「スタート」>「コントロールパネル」>「Adobe Version



Cue CS3」の順に選択します。

2. 「設定」タブで「停止」ボタンをクリックし、Version Cue Serverを停止させます。
3. 「スタート」>「コントロールパネル」>「プログラムの追加と削除」の順に選択します。
4. リストからPortfolio Project Syncを選択し、「削除」をクリックします。





